

末吉中学校便り

～生徒と保護者の皆様、地域の皆様へ～

第288号 令和6年 3月 25日 (月) 横浜市立末吉中学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sueyoshi/>

電話 581-0813/FAX 585-9497

待たれたる 卒業なりし 吾子よ嬉し 高浜年尾



校長 星野 久美子

桜の花もようやく開花宣言を迎える頃となりました。

寒い冬をすごしたからこそ暖かい春の訪れに心が躍ります。

3月12日(火)末吉中学校第75回卒業証書授与式が挙行されました。あいにくの雨ではありましたが、つつがなく卒業式を実施できましたことに御礼申し上げます。

振り返ってみると令和5年度卒業生たちが入学した令和3年は、感染症の流行による緊急事態宣言が発令され、2020東京オリンピックが1年遅れて開催されるなど、社会の混乱が続いていました。

このような経験の中で成長した卒業生に贈った言葉の一部をご紹介します、今年度学校便りの巻頭文を終わりたいと思います。1年間ありがとうございました。

(前略)私たちの祖先は、空を見たり、風の向きや湿り具合などを感じることで天気を予想しました。現在の私たちは、端末をチェックするだけで、明日の天気を知ることができます。現代社会では、膨大な情報に直接アクセスしたり、すでに存在する情報やデータを分析することが可能になりました。そして、さらに AI で新しい情報やデータを生み出すことも可能となりました。

そのことを便利だと感じる一方で、不安なところもあります。ある中学校での課題で、半数以上の生徒がほぼ同じ内容で間違っていたということがありました。理由を調べてみると、間違った生徒たちは検索サイトの生成 AI の回答をもとに答えていて、教科書や参考書をもとにこの回答が信頼できるものかどうか吟味していなかったようです。このようなことから、みなさんが歩いていく社会は、一見、簡単に正解が手に入るように見えて、実は「正解がひとつではない」「正解がない」そして、「正解が変化する」社会ではないかと考えます。そのような社会では、知識の中から解を引き出して満足するのではなく、振り返り、考え、予想する、吟味することなどが求められます。

みなさんが中学校生活で学んだ「自分なりの根拠をもって意見を述べる」「粘り強く努力する」「多様な個性・立場を認める」「目標に向かって協力して取り組む」などの経験が、生活を営む上での大切な基盤となることでしょう。

新しい世界でみなさんが生き生きと活躍する姿が目に見えます。どうか多くの人たちとつながり、素敵な社会を創り上げてください。